

ジャーナリズム公開講座

オンライン配信（Zoom ウェビナー）

全8回 2021年7月～2022年2月

毎月1回（木）18時30分～20時30分 開催

※どなたでも参加いただけます。（申込方法は裏面）

参加無料
要事前申込
先着 100 名様

健全なジャーナリズムこそ民主主義の基本です。

	<p>第1回／飯田浩司（ニッポン放送アナウンサー） 7月29日</p> <p>「ラジオニュースで私がめざしていること」</p> <p>1981年生まれ、神奈川県出身。横浜国立大学経営学部卒業後、ニッポン放送入社。「ザ・ボイス そこまで言うか！」アンカーマンを経て、2018年から「飯田浩司のOK! Cozy up!」（月～金・午前6～8時）のパーソナリティとして政治・経済ニュースを取材し、「議論は戦わせるものではなく、深めるもの」をモットーに情報発信している。著書に『「反権力」は正義ですか ラジオニュースの現場から』（新潮新書）。</p>
	<p>第2回／亀松太郎（ウェブメディア「DANRO」編集長） 8月26日</p> <p>「ネットメディアの特徴と使い方」</p> <p>1970年浜松市生まれ。東京大学法学部卒業後、朝日新聞記者になるが、3年で退社。法律事務所のリサーチャーやJ-CASTニュース記者を経験後、ニコニコ動画を運営するドワンゴでニュースサイトの運営や報道・言論番組の制作を統括。弁護士ドットコムニュース編集長を経て、フリーランスの記者・編集者・プロデューサーとして複数のネットメディアに関わる。2020年8月、「ひとりを楽しむ」をコンセプトにしたウェブマガジンDANRO（danro.bar）を創刊。</p>
	<p>第3回／福島香織（ジャーナリスト） 9月30日</p> <p>「中国報道を読み解く」</p> <p>奈良県生まれ。大阪大学文学部卒業後、1991年に産経新聞社入社。上海・復旦大学への語学留学を経て2001年に香港、2002～08年に北京で特派員。2009年に産経新聞を退社後フリーに。主に中国の政治・経済・社会を取材している。主な著書に『新型コロナ、香港、台湾、世界は習近平を許さない』（ワニブックス）、『習近平の敗北 紅い帝国・中国の危機』（ワニブックス）、『中国絶望工場の若者たち』（PHP研究所）、『潜入ルポ 中国の女』（文藝春秋）など。</p>
	<p>第4回／柴山哲也（ジャーナリスト、メディア研究者） 10月28日</p> <p>「いま、解説する戦後ジャーナリズム秘史」</p> <p>同志社大学大学院文学研究科新聞学専攻中退。1970年朝日新聞社入社、世界各地を取材。朝日ジャーナル編集部や戦後50年企画本部を経て94年退職。イースト・ウエスト・センターやハワイ大学の客員研究員、国際日本文化研究センター客員教員、京都女子大学教授、立命館大学客員教授を務める。専門は比較ジャーナリズム論。著書に『いま、解説する戦後ジャーナリズム秘史』（ミネルヴァ書房）、『日本型メディアシステムの興亡』（同）、『真珠湾の真実』（平凡社新書）、『新京都学派』（同）など。</p>

	第5回／瀬川至朗(早稲田大学教授) 11月25日
	「科学報道は『公平・中立』でよいのか」 1954年岡山市生まれ。東京大学教養学部教養学科(科学史・科学哲学)卒業。毎日新聞社でワシントン特派員、科学環境部長、編集局次長、論説委員などを務める。1998年、劣化ウラン弾報道で日本ジャーナリスト会議(JCJ)奨励賞をチーム受賞。2008年から現職で科学報道、誤情報生態系・ファクトチェック、メディア産業論などを研究。著書に『科学報道の真相——ジャーナリズムとマスメディア共同体』(ちくま新書、科学ジャーナリスト賞2017を受賞)、『心臓移植の現場』(新潮社)、『理系白書』(共著、講談社)、『メディアは環境問題をどう伝えてきたのか』(共編著、ミネルヴァ書房)など。NPO法人「ファクトチェック・イニシアティブ」と同「報道実務家フォーラム」の理事長。
	第6回／岩永直子(BuzzFeed Japan Medical Editor) 12月17日
	「コロナ下の医療ジャーナリズムの課題と取り組み」 1998年、東京大学文学部卒業。同年、読売新聞社入社。社会部、医療部、読売新聞の医療サイト「ヨミドクター」編集長を経て、2017年5月BuzzFeed Japanに入社。BuzzFeed Japan Medicalを創設。主に医療に関連した記事を執筆、編集している。共著に『この国の不寛容の果てに 相模原事件と私たちの時代』(大月書店)、『新養生訓 健康本のテイスティング』(丸善出版)、『アディクション・スタディーズ 薬物依存症を捉えなおす13章』(日本評論社)。
	第7回／菊池誠(大阪大学教授) 2022年1月27日
	「ニセ科学にだまされないために」 1958年生まれ、青森県出身。86年東北大学大学院で理学博士号取得。大阪大学理学部物理学科助手、独マックス・プランク研究所研究員、大阪大学理学部物理学科助教授、99年同教授を経て、2000年より大阪大学サイバーメディアセンター教授。専門は統計力学、生物物理学、計算物理学。研究・教育と並行して、ニセ科学の社会的な問題点を指摘する活動を行なっている。著書に『科学と神秘のあいだ』(筑摩書房)、『もうだまされないための「科学」講義』(共著、光文社)、『いちから聞きたい放射線のほんとう』(共著、筑摩書房)など。
	第8回／大治朋子(毎日新聞編集委員・専門記者) 2月24日
	「紛争・テロリズムをどう報じるか」 1989年毎日新聞社入社。サンデー毎日、社会部、ワシントン特派員、エルサレム特派員などを歴任。防衛庁(当時)による個人情報不正収集・使用に関するスクープで2002、03年度新聞協会賞連続受賞。20年度ボーン・上田記念国際記者賞。英オックスフォード大学ロイタージャーナリズム研究所元客員研究員。2017-19年、イスラエルのヘルツェリア学際研究所でテロ対策やサイバーセキュリティを研究、テルアビブ大学大学院で危機・トラウマ学修士号取得。著書に『歪んだ正義 「普通の人」がなぜ過激化するのか』(毎日新聞出版)、『勝てないアメリカ 「対テロ戦争」の日常』(岩波新書)、『アメリカ・メディア・ウォーズ ジャーナリズムの現在地』(講談社現代新書)など。

▶申込方法

グローバル地域センターのウェブサイトから各回の案内にしたがってウェビナー登録をしてください。登録完了後に接続方法をご案内します。

<https://www.global-center.jp>



▶お問い合わせ

静岡県立大学グローバル地域センター



Tel:054-245-5600 E-mail:nishi@u-shizuoka-ken.ac.jp(担当:西)